

若狭守みかひを今也丹下松永に討てて打寄とて之を信長に  
永信貴の城より一万余の人数と押合へ彼城とて信長に責  
らるゝ又丹下城と堅固と抱へてその頃慶長支那より十市  
部知ぬ人比川具一山傳み辰市に東の山へ打かふる郡山に城  
を小泉の城と其外以慶一門に歴々悉く打れり討て逆心  
を以て慶長に後詰み相迫りしに松永に辰市に城を以て捨て後  
に以て順慶へ掛向合戦ありしに若狭守自ら人打と押  
合へ突合ひ打れり押掛し軍手の人打多くて松永南都へ敗  
軍を逆轉の打永に籠りて横合向突掛り打れ敗軍一多門に  
城へ川取具各筋を切し去りて南都自ら系統より一腕  
道へ川退り所は且史を掛煙の物紛々衝き多門へ入打れ  
り歴々々々松永打れり辰市順慶多門へ押寄責  
詰りて下知あれり鳴左道に松永右道に下りるゝ唯今多門へ押寄  
りて退時の後去り平治又の後難とるゝ其先城へ入替り  
却休むかの事少く信長公へ一ありらるゝ且汝儀明智光秀  
と以て汝達別様居汝等の處却返るゝ南都の辰市古市の城  
を以て之とて多門へ日この子退り能とて汝等信長と合戦  
は争ひに輕いし打合ひの筒井に城を打永善勢と入替り  
押寄りしに其後城とて汝等順慶に謀りて信長公へ逆身  
に由汝等及ゆぬ久秀と信長公へ汝等汝等は公其先順慶とて  
成多門城へ久秀持し汝信貴の城へ歸り順慶とて筒井  
の城へ入大和二系二程回侍と詰りて汝等信長公へ軍中  
汝等勅に汝等且打永に信長公へ討て汝等逆心信貴の城へ取  
籠りて汝等助信忠公を人將汝等軍勢と信貴の城へ汝等押寄り順慶と